

特別プログラム

【学術集会企画】

■ 特別講演

6月21日(金) 11:10~12:10 第1会場(1F 中ホール)

特別講演 1

座長：和田 英夫(地方独立行政法人三重県立総合医療センター／三重大学大学院連携講座)

Haemostatic consequences of sepsis

University of Liverpool, UK **Cheng-Hock Toh**

6月21日(金) 11:10~12:10 第6会場(2F 第2ギャラリー)

特別講演 2

座長：松下 正(名古屋大学医学部附属病院輸血部)

Gene therapy for Haemophilia

Haemophilia Centre, Barts and the London School of Medicine and Dentistry **John Pasi**

6月22日(土) 11:10~12:10 第1会場(1F 中ホール)

特別講演 3

座長：嶋 緑倫(奈良県立医科大学)

Mechanisms of coumarin sensitivity and coumarin resistance

Institute of Experimental Haematology and Transfusion Medicine, University Clinic Bonn, Bonn, Germany

Johannes Oldenburg

■ 教育講演

6月21日(金) 9:00~9:50 第7会場(2F 大会議室)

教育講演 1

座長：林 辰弥(三重県立看護大学・看護学部)

静脈血栓塞栓症：診断と治療のトピックス

桑名市総合医療センター循環器内科 **山田 典一**

6月21日(金) 9:55~10:45 第7会場(2F 大会議室)

教育講演 2

座長：小倉 妙美(静岡県立こども病院血液凝固科)

血友病 A 治療の動向

荻窪病院血液凝固科 **鈴木 隆史**

6月21日(金) 13:20~14:10 第7会場(2F 大会議室)

教育講演 3

座長：朝倉 英策(金沢大学附属病院高密度無菌治療部)

DIC の病態, 診断, 治療

帝京大学医療技術学部 **川杉 和夫**

6月22日(土) 9:00~9:50 第7会場(2F 大会議室)

教育講演4 座長：矢富 裕(東京大学大学院医学系研究科内科学専攻病態診断医学講座臨床病態検査医学分野)

凝固関連検査と抗凝固薬～「何をどのように測定しているのか」と「何にどのように作用しているのか」のインターフェースを考える～

慶應義塾大学医学部臨床検査医学教室 涌井 昌俊

6月22日(土) 10:00~10:50 第7会場(2F 大会議室)

教育講演5 座長：羽藤 高明(愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

血栓止血を超えた血小板の役割

山梨大学大学院総合研究部医学域臨床検査医学 井上 克枝

■ 会長シンポジウム

「エポックメイキングな血栓止血領域の治療ならびに検査」

6月20日(木) 14:40~16:40 第1会場(1F 中ホール)

座長：浦野 哲盟(浜松医科大学医生理学講座)

1. VTE：DOAC(エドキサバン)の研究開発

第一三共株式会社メディカルアフェアーズ本部メディカルサイエンス部 森島 義行

座長：鈴木 宏治(鈴鹿医療科学大学薬学部)

2. recombinant TMの開発 - DIC トリガー因子：トロンビンのベクトル変換によるDIC治療ストラテジー

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 丸山 征郎

座長：吉岡 章(奈良県立医科大学)

3. 血友病：Emicizumabの開発

奈良県立医科大学小児科 嶋 緑倫

座長：富山 佳昭(大阪大学医学部附属病院輸血部)

4. ITP：トロンボポイエチン受容体作動薬の開発

関西医科大学医学部第一内科 野村 昌作

座長：村田 満(慶應義塾大学医学部臨床検査医学)

5. 바이오マーカーの進歩：前血栓症ならびに前大出血状態の診断

地方独立行政法人三重県立総合医療センター／三重大学大学院連携講座 和田 英夫

■ DIC 特別セミナー

「世界の DIC 研究」

6月21日(金) 13:20~14:20 第1会場(1F 中ホール)

座長：尾崎由基男(笛吹中央病院)

1. ISTH の国際的な DIC 診療・研究の標準化への取り組み

地方独立行政法人三重県立総合医療センター／三重大学大学院連携講座 和田 英夫

2. Validation of the Sepsis-induced coagulopathy (SIC) scoring system

順天堂大学医学部救急科 射場 敏明

■ 特別セミナー

6月22日(土) 11:10~12:10 第6会場(2F 第2ギャラリー)

座長：一瀬 白帝(山形大学医学部)

インテグリンの活性化制御：細胞からエクソソームまで

三重大学大学院医学系研究科分子病態学 島岡 要

■ 血栓止血セミナー

6月20日(木) 19:00~19:50 第5会場(1F レセプションルーム)

血栓止血セミナー1

座長：兼兒 敏浩(三重大学医学部附属病院医療安全管理部)

虚血の痛みとオピオイドによる鎮痛

三重大学大学院医学系研究科麻酔集中治療学緩和ケアセンター 丸山 一男

6月21日(金) 9:00~9:50 第4会場(地下1F 第2リハーサル室)

血栓止血セミナー2

座長：波部 幸司(三重大学大学院医学系研究科皮膚科学)

抗凝固薬の変遷とモニタリング法、そして臨床での使用法における問題点

東京女子医科大学成人医学センター 上塚 芳郎

6月21日(金) 9:55~10:45 第4会場(地下1F 第2リハーサル室)

血栓止血セミナー3

座長：田中 憲一(新潟大学産婦人科／阿賀野市民病院)

小児の腎疾患と血液凝固線溶系

板橋中央総合病院小児科 高橋 昌里

6月21日(金) 18:00~19:00 講演会場(グリーンパーク津 6F 菱・橋)

血栓止血セミナー4

講演1.

座長：浦和 健人(公益社団法人津地区医師会／豊里クリニック)

血栓止血医療における適正な保険診療

三重県国民健康保険診療報酬審査委員会／医療法人久藤内科 久藤 真

講演2. 座長：西川 政勝(近畿健康管理センター・三重事業部／三重健診クリニック)

血栓止血研究と医療倫理

三重大学医学部附属病院臨床研究開発センター 田丸 智巳

■ 血栓症セミナー

6月21日(金) 14:30~15:00 第4会場(地下1F 第2リハーサル室)

座長：後藤 信哉(東海大学医学部内科学系循環器内科学)

Batroxobin Accelerated Tissue Repair via Neutrophil Extracellular Trap Regulation and Defibrinogenation in a Murine Ischemic Hindlimb Model

東海大学医学部基礎医学系生体構造機能学 増田 治史

【学会本部企画】

■ 学術奨励賞受賞講演

6月20日(木) 11:50~12:45 第1会場(1F 中ホール)

座長：宮田 敏行(国立循環器病研究センター脳血管内科)

[基礎]

Platelets play an essential role in murine lung development through Clec-2/podoplanin interaction

山梨大学大学院総合研究部医学域臨床検査医学講座 築地 長治

[臨床]

Acquired von Willebrand syndrome in patients with left ventricular assist device

青森県立中央病院心臓血管外科 坂爪 公

[臨床]

Efficacy of dual antiplatelet therapy for preventing recurrence of arterial thrombosis in patients with antiphospholipid syndrome

北海道大学大学院医学研究科免疫・代謝内科学分野 藤枝雄一郎

■ 岡本賞受賞講演

6月20日(木) 13:45~14:35 第1会場(1F 中ホール)

座長：嶋 緑倫(奈良県立医科大学小児科)

[Shosuke Award]

Venous thrombosis and thrombotic thrombocytopenic purpura

国立循環器病研究センター脳血管内科 宮田 敏行

[Utako Award]

Vitamin K-dependent protein S: Function and etiological significance

中村学園大学栄養科学部栄養科学科 津田 博子

■ JSTH/APSTH 学会合同シンポジウム

6月20日(木) 14:40~16:40 第6会場(2F 第2ギャラリー)

座長：尾崎由基男(笛吹中央病院)

浦野 哲盟(浜松医科大学医生理学講座)

藤井 聡(旭川医科大学臨床検査医学講座)

AP-001. The role of PKC δ in regulation of integrin α IIb β 3-mediated outside-in signaling in platelets

College of Veterinary Medicine, Chungbuk National University, Chungju, Korea

Preeti Kumari Chaudhary

AP-002. Cellular Mechanisms Underlying Microparticle Generation in Preeclampsia-associated Hypercoagulability

Cyrus Tang Hematology Center, Soochow University, Suzhou, China
/ Jiangsu Institute of Hematology, The First Affiliated Hospital of Soochow University,
Soochow University, Suzhou, China **Ningzheng Dong**

AP-003. A novel role for thioredoxin-related transmembrane protein TMX4 in platelet activation and thrombus formation

Cyrus Tang Hematology Center, Soochow University, China **Zhenzhen Zhao**

AP-004. Is there a role for global coagulation assays in thrombosis risk prediction?

Department of Hematology, Northern Hospital, Epping, Australia / Australian Centre for Blood Diseases,
Monash University, Melbourne, Australia / The Florey Institute of Neuroscience and Mental Health,
University of Melbourne, Parkville, Australia **Hui Yin Lim**

AP-005. Low dose secondary prophylaxis of Factor VIII in children with moderate and severe Haemophilia A

Haematology and Oncology Unit, Yangon Children Hospital, University of Medicine 1, Yangon

Khin Nwe Oo

AP-006. Development of Deep Vein Thrombosis After Achieving Remission in A Patient with Acquired Hemophilia A

Fellow, Section of Hematology, University of the Philippines, Philippine General Hospital

Camille Ariadne C. Tanchanco

■ 特別ジョイントシンポジウム / 日本血栓止血学会・日本検査血液学会

「止血異常における臨床検査の最前線」

6月22日(土) 14:10~16:10 第1会場(1F 中ホール)

座長：川合 陽子(国際医療福祉大学臨床医学研究センター)

家子 正裕(北海道医療大学歯学部歯学科内科学分野)

1. 血栓性素因検査の最前線—特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る)を中心に、血栓性素因検査のススメ—

三重大学医学部附属病院中央検査部 池尻 誠

2. 出血性素因検査の最前線 病態を反映する凝固機能評価法 -検査室から臨床へ-

天理医療大学臨床検査学科 松本 智子

3. 抗リン脂質抗体症候群における臨床検査の最前線

北海道医療大学病院臨床検査部 内藤 澄悦

4. 線溶系検査の臨床的意義と新展開

埼玉医科大学総合医療センター輸血細胞医療部 山本 晃士

5. 血小板検査の最前線

岐阜医療科学大学保健科学部臨床検査学科 國島 伸治

■ 学術推進委員会(SPC)シンポジウム 1 動物モデル部会

「肺血栓塞栓症モデルを用いた探索的研究 - Translational research using animal models of pulmonary thromboembolism -」

6月20日(木) 14:40~16:25 第3会場(地下1F 第1リハーサル室)

座長: 梅村 和夫(浜松医科大学薬理学)

山下 篤(宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野)

1. Human pathology and animal models of deep vein thrombosis

宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野 山下 篤

2. Backgrounds of blood coagulation in the clinical guidelines of pregnancy-related venous thromboembolism (VTE) -leading to animal experimental models-

浜松医科大学医学部医学科産婦人科家庭医療学講座 杉村 基

3. Studies of inflammatory responses on acute phase pulmonary embolism by using a new model in mice

長浜バイオ大学バイオサイエンス学部アニマルバイオサイエンス学科 永井 信夫

4. Thrombin activatable fibrinolysis inhibitor promotes development of chronic thromboembolic pulmonary hypertension -A Possible Novel Therapeutic Target-

東北大学大学院循環器内科学 佐藤 公雄

■ 学術推進委員会(SPC)シンポジウム 2 線溶とその制御部会

「生体侵襲と線溶の基礎と臨床的展開 - The basic and clinical research progress between biological invasion and fibrinolysis -」

6月21日(金) 9:00~10:45 第5会場(1F レセプションルーム)

座長: 岡田 清孝(近畿大学医学部医学基盤教育部門)

窓岩 清治(東京都済生会中央病院臨床検査医学科)

1. Roles of the fibrinolytic system in the pathogenesis of inflammatory diseases

順天堂大学大学院医学研究科ゲノム・再生医療センター／
東京大学医科学研究所幹細胞治療研究センター 服部 浩一

2. Fibrinolytic system impairment related to DNA methylation of proximal *PLAT* promoter in nasal polyps

筑波大学医学医療系遺伝医学／福井大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 木戸口正典

3. Pathology of corneal ulcer and fibrinolysis

近畿大学奈良病院眼科 杉岡 孝二

4. Fibrinolysis in AL amyloidosis: the mechanism of activation and clinical importance

熊本大学病院血液・膠原病・感染症内科 上野志貴子

■ 学術推進委員会(SPC)シンポジウム 3 抗血栓療法部会

「注目すべき病態と抗血栓療法の進歩－ Notable pathophysiology and progress in antithrombotic therapy －」

6月21日(金) 13:20~15:05 第3会場(地下1F 第1リハーサル室)

座長: 矢坂 正弘(九州医療センター脳血管センター)

山田 典一(桑名市総合医療センター循環器内科)

1. Regulation of von Willebrand factor release in endothelial cells

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学分野／鹿児島大学病院 山口 宗一

2. Antithrombotic therapy for patients with hemostatic disorder such as acquired von Willebrand syndrome

東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野 堀内 久徳

3. DOAC and fibrinolysis reaction -the possibility of future antithrombotic therapy controlling thrombolysis-

奈良県立医科大学小児科・血栓止血医薬生物学 坂田 飛鳥

4. Pathophysiology and antithrombotic therapy of Embolic Strokes of Undetermined Sources (ESUS)

東京女子医科大学脳神経内科 山崎 昌子

5. Drug discovery and development of factor XIa inhibitor: the status and prospects

小野薬品工業株式会社創薬研究部 崎元 伸哉

■ 学術推進委員会(SPC)シンポジウム 4 癌と血栓部会

「がん患者の血栓症における最新の動向－ Recent trends for thrombosis in cancer patients －」

6月22日(土) 9:00~10:45 第2会場(地下1F 小ホール)

座長: 畑 泰司(関西労災病院消化器外科)

横山 健次(東海大学医学部付属八王子病院血液腫瘍内科)

1. Treatment strategy for disseminated intravascular coagulation syndrome associated with solid tumors

東北大学病院腫瘍内科 高橋 信

2. Cancer-associated thrombosis : from the point of view of basic research

奈良県立医科大学血栓止血先端医学講座／Division of Hematology/Oncology, Department of
Medicine, University of North Carolina at Chapel Hill, NC, U.S.A. 辰巳 公平

3. Diagnosis, treatment and prevention of cancer associated thrombosis in the guidelines

公益財団法人がん研究会有明病院医療安全管理部 保田 知生

4. Current status of and issues in management of cancer-associated thrombosis in Japanese patients

公益財団法人がん研究会有明病院腫瘍循環器・循環器内科 志賀 太郎

5. Mechanism and management of cancer-associated thrombosis

大阪国際がんセンター成人病ドック科・腫瘍循環器外来 向井 幹夫

【企業共催企画】

■ 第 11 回 Bayer Thrombosis Seminar

「血栓症の病態と治療」

6月20日(木) 16:50~18:50 第1会場(1F 中ホール)

Opening Remarks

地方独立行政法人三重県立総合医療センター／三重大学大学院連携講座 和田 英夫

講演 1.

座長：内山真一郎(国際医療福祉大学臨床医学研究センター／
山王病院・山王メディカルセンター脳血管センター)

ゲノムビッグデータ解析による脳卒中間連遺伝子変異の探索

京都大学大学院医学研究科京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻／
理化学研究所生命医学研究センターゲノム解析応用研究チーム 鎌谷洋一郎

講演 2.

座長：矢坂 正弘(国立病院機構九州医療センター脳血管センター)

心房細動と認知症

横浜総合病院臨床研究センター 長田 乾

講演 3.

座長：小嶋 哲人(愛知健康増進財団／名古屋大学)

慢性腎臓病患者における抗血栓療法

奈良県立医科大学腎臓内科学 鶴屋 和彦

講演 4.

脳血管内治療の最前線

座長：是恒 之宏(国立病院機構大阪医療センター)

兵庫医科大学脳神経外科学講座 吉村 紳一

Closing Remarks

早稲田大学 池田 康夫
〔共催：バイエル薬品株式会社〕

■ 第 8 回プロテイン S 研究会シンポジウム

〔特発性血栓症(遺伝性血栓性素因による)～診断の現状と課題〕

6月21日(金) 13:20～15:20 第5会場(1F レセプションルーム)

座長：岡本 好司(北九州市立八幡病院)

安本 篤史(東京大学医学部附属病院検査部)

1. 特発性血栓症診断の現状と問題点

金沢大学医薬保健研究域保健学系病態検査学 森下英理子

2. 遺伝性血栓性素因検査の標準化への試み

北海道医療大学歯学部内科学分野 家子 正裕

3. 日本人におけるプロテイン C p.Lys193del の臨床的意義

九州大学病院検査部 松本 信也

4. 総プロテイン S 測定系の有効性の検討 -PS Tokushima 判定および SSC/ISTH 標準血漿の校正-

中村学園大学栄養科学部 津田 博子

5. プロテイン S 徳島変異検出におけるプロテイン S 比活性カットオフ値の検証

富山大学理事・副学長 北島 勲
富山大学附属病院検査・輸血細胞治療部 杉江 奈々

6. 静脈血栓症の危険因子：プロテイン S 比活性

株式会社シノテスト R&D センター 金 秀日
プロテイン S 研究所／九州大学医学部 濱崎 直孝
〔共催：株式会社シノテスト〕

■ 第12回 DAIICHI-SANKYO SYMPOSIUM FOR THROMBOSIS UPDATE

6月21日(金) 15:30~18:00 第1会場(1F 中ホール)

講演 1.

座長：野上 恵嗣(奈良県立医科大学小児科学教室)

Genetic variants in Factor IX

Institute of Experimental Haematology and Transfusion Medicine, University Clinic Bonn, Bonn, Germany

Johannes Oldenburg

講演 2.

座長：大森 司(自治医科大学大学生化学講座病態生化学部門)

血管ネットワーク形成の基盤となる細胞間相互作用とその破綻

慶應義塾大学医学部解剖学教室 久保田義顕

講演 3.

座長：梅村 和夫(浜松医科大学薬理学)

癌治療薬と心血管イベント

佐賀大学医学部血液・呼吸器・腫瘍内科 木村 晋也

講演 4.

座長：浅田祐士郎(宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学)

我が国の周産期における PTE の現状と対策

三重大学大学院医学系研究科産科婦人科学 池田 智明

[共催：第一三共株式会社]

■ 中外スポンサードシンポジウム

「血友病治療の新たな展開～実臨床における課題～」

6月20日(木) 16:50~18:50 第6会場(2F 第2ギャラリー)

座長：嶋 緑倫(奈良県立医科大学小児科)

福武 勝幸(東京医科大学臨床検査医学分野)

1. エミシズマブ治療時代における血友病 A 患者の治療の現状と今後の課題

広島大学病院輸血部 藤井 輝久

2. 実臨床における血友病 A 患者へのエミシズマブ使用の解決すべき課題：「出血時・周術期止血管理とそのモニタリング」と「乳幼児期の投与」

奈良県立医科大学小児科 野上 恵嗣

3. 活動強度を考慮した血友病 A 患者マネジメントへ与えるエミシズマブのインパクト

東京医科大学臨床検査医学分野 天野 景裕

[共催：中外製薬株式会社]

■ ジョイントシンポジウム 1/ 日本血栓止血学会・日本救急医学会

「新しい DIC 診療ガイドライン作成への問題点」

6月21日(金) 9:00~11:00 第1会場(1F 中ホール)

座長：久志本成樹(東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野)

和田 英夫(地方独立行政法人三重県立総合医療センター／三重大学大学院連携講座)

1. 血栓止血学会 DIC 診療ガイドライン作成への基本的な考え

北九州市立八幡病院外科／消化器・肝臓病センター 岡本 好司

2. 救急領域からの基本的な考え

産業医科大学医学部救急医学講座 真弓 俊彦

3. 敗血症診療ガイドラインから読み解く：DIC 診療の現状と課題

大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 小倉 裕司

4. 国際血栓止血学会の敗血症性 DIC 診療に対するアプローチ

順天堂大学医学部救急医学 射場 敏明

5. 造血器腫瘍に合併した DIC おける基本的な考え

福島県立医科大学血液内科学講座 池添 隆之

6. 敗血症性 DIC におけるアンチトロンビン・トロンボモジュリン使用の考え方

北海道大学病院救急科 早川 峰司
大阪急性期・総合医療センター高度救命救急センター 山川 一馬
[共催：日本製薬株式会社、積水メディカル株式会社]

■ ジョイントシンポジウム 2/ 日本血栓止血学会・日本小児血液・がん学会

「小児・成人診療における血栓止血学の実践—特発性血栓症と血友病—」

6月21日(金) 9:00~11:00 第2会場(地下1F 小ホール)

座長：小嶋 哲人(愛知健康増進財団／名古屋大学)

石黒 精(国立研究開発法人国立成育医療研究センター教育研修センター)

1. 小児特発性血栓症

九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野 大賀 正一

2. 遺伝性血栓性素因保有者の妊娠分娩管理

金沢大学医薬保健研究域保健学系病態検査学 森下英理子

3. 小児血友病患者の現状と課題

聖マリアンナ医科大学小児科 長江 千愛

4. 成人血友病および類縁疾患の現状と課題

三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部 松本 剛史
[共催：バイエル薬品株式会社]

■ ジョイントシンポジウム 3/ 日本血栓止血学会・日本静脈学会

「がん関連静脈血栓塞栓症」

6月22日(土) 9:00~11:00 第1会場(1F 中ホール)

座長：孟 真(横浜南共済病院循環器センター心臓血管外科)
荻原 義人(三重大学医学部附属病院循環器内科)

1. がんと止血機構との接点

東京都済生会中央病院臨床検査医学科 窓岩 清治

2. 膵癌症例における静脈血栓塞栓症発生例の検討

三重大学大学院医学系研究科肝胆膵・移植外科 伊佐地秀司

3. 腫瘍外科医の立場からみた CAT

岐阜大学医学部附属病院腫瘍外科 田中 善宏

4. VTE を併発した担癌患者の検討—周術期治療も含めて

藤田医科大学医学部心臓血管外科 小林 昌義

5. がん関連下腿限局型 DVT についての検討～日本静脈学会サーベイ調査より～

桑名市総合医療センター循環器内科／日本静脈学会静脈疾患サーベイ委員会 山田 典一

6. がん関連静脈血栓塞栓症の現状と課題～COMMAND VTE Registry より～

京都大学大学院医学研究科循環器内科 山下 侑吾

7. 癌関連血栓症における、がん専門病院と急性期治療病院との医療連携

公益財団法人がん研究会有明病院医療安全管理部 保田 知生
[共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社, ファイザー株式会社]

■ 教育シンポジウム

6月22日(土) 9:00~11:00 第3会場(地下1F 第1リハーサル室)

教育シンポジウム1「教科書には載っていない血栓止血学講座」

座長：岡本 好司(北九州市立八幡病院外科／消化器・肝臓病センター)
鈴木 宏治(鈴鹿医療科学大学社会連携研究センター・薬学部)

1. 血栓止血学の歩み ～脳血管障害の立場から 抗血栓療法の個別化に向けて～

東京女子医科大学脳神経内科 山崎 昌子

2. 出血性・血栓性疾患における包括的血液凝固検査の有用性

奈良県立医科大学小児科学教室 荻原 建一

3. 凝固・線溶機序における新概念とともに臨床を考える

奈良県立医科大学小児科学教室 野上 恵嗣
[共催：CSL ベーリング株式会社]

6月22日(土) 9:00~11:00 第5会場(1F レセプションルーム)

教育シンポジウム2「補体制御異常による TMA の診断と治療」

座長：村田 満(慶應義塾大学医学部臨床検査医学)
藤村 吉博(奈良県立医科大学)

1. 補体系と凝固系のクロストーク

国立循環器病研究センター脳血管内科 宮田 敏行

2. aHUS 以外の TMA の診断と治療

奈良県立医科大学輸血部 松本 雅則

3. 「非典型溶血性尿毒症症候群(aHUS)診療ガイド2015」とエクリズマブ使用上の注意点

横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学 伊藤 秀一

4. 三重大学病院における15家系20名のC3 p.I1157T ミスセンス変異による非典型溶血性尿毒症症候群(aHUS)の病態と eculizumab 使用経験

三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部 松本 剛史

[共催：アレクシオンファーマ合同会社]

6月22日(土) 9:00~11:00 第6会場(2F 第2ギャラリー)

教育シンポジウム3「出血性疾患の血栓症」

座長：齋藤 英彦(名古屋大学)

吉岡 章(奈良県立医科大学)

1. 血友病治療の発展とエイジングケア

名古屋大学医学部附属病院輸血部 松下 正

2. 出血性疾患と静脈血栓塞栓症

東京大学医科学研究所附属病院関節外科 竹谷 英之

3. 出血性疾患と脳卒中予防

山王病院・山王メディカルセンター脳血管センター 内山真一郎

4. 出血性疾患と冠動脈疾患

東海大学医学部循環器内科 後藤 信哉

[共催：武田薬品工業株式会社(旧：シャイアー・ジャパン株式会社)]

■ 血栓止血セミナー

6月20日(木) 19:00~19:50 第7会場(2F 大会議室)

座長：片山 直之(三重大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学)

骨髄増殖性腫瘍に対する分子標的療法の進歩と今後の課題 ～実臨床を通じて～

三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部 大石 晃嗣

[共催：ノバルティス ファーマ株式会社]

【企業企画】

■ ランチョンセミナー 1

6月20日(木) 12:50~13:40 第3会場(地下1F 第1リハーサル室)

座長：富山 佳昭(大阪大学医学部附属病院輸血部)

特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) の病態と治療

愛媛大学大学院医学系研究科血液・免疫・感染症内科学 山之内 純

[共催：ノバルティス ファーマ株式会社]

■ ランチョンセミナー 2

6月20日(木) 12:50~13:40 第5会場(1F レセプションルーム)

座長：内場 光浩(熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

血管内皮の保護と治療戦略 アルブミン、アンチトロンビンの意義

浜松医科大学医学部麻酔蘇生学講座 中島 芳樹

[共催：一般社団法人日本血液製剤機構]

■ ランチョンセミナー 3

6月20日(木) 12:50~13:40 第6会場(2F 第2ギャラリー)

座長：浦野 哲盟(浜松医科大学医生理学講座)

血友病 A 治療における第 VIII 因子製剤の位置づけ

名古屋大学医学部附属病院輸血部 松下 正

[共催：バイエル薬品株式会社]

■ ランチョンセミナー 4

6月20日(木) 12:50~13:40 第7会場(2F 大会議室)

座長：尾崎由基男(笛吹中央病院)

DIC の診断と治療の最前線

東京都済生会中央病院臨床検査医学科 宍岩 清治

[共催：シスメックス株式会社]

■ ランチョンセミナー 5

6月21日(金) 12:25~13:15 第2会場(地下1F 小ホール)

座長：瀧 正志(聖マリアンナ医科大学小児科学)

血友病治療の手段とその進歩

名古屋大学医学部附属病院輸血部 松下 正

[共催：中外製薬株式会社]

■ ランチョンセミナー 6

6月21日(金) 12:25~13:15 第3会場(地下1F 第1リハーサル室)

座長：鈴木 隆史(荻窪病院血液凝固科)

これからの血液凝固第VIII因子製剤の役割

奈良県立医科大学小児科 野上 恵嗣

[共催：武田薬品工業株式会社(旧：シャイアー・ジャパン株式会社)]

■ ランチョンセミナー 7

6月21日(金) 12:25~13:15 第4会場(地下1F 第2リハーサル室)

座長：久志本成樹(東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野)

敗血症診療におけるDICの診断と治療を考える～抗凝固療法は誰のもの？～

大阪急性期・総合医療センター救急診療科 山川 一馬

[共催：旭化成ファーマ株式会社]

■ ランチョンセミナー 8

「血友病と小児の活動」

6月21日(金) 12:25~13:15 第5会場(1F レセプションルーム)

座長：天野 景裕(東京医科大学臨床検査医学分野)

血友病患者における止血管理の方向性

聖マリアンナ医科大学小児科 長江 千愛

[共催：ファイザー株式会社]

■ ランチョンセミナー 9

6月21日(金) 12:25~13:15 第6会場(2F 第2ギャラリー)

座長：堀内 久徳(東北大学加齢医学研究所加齢制御研究部門基礎加齢研究分野)

血友病Aにおける標準型と半減期延長型凝固因子製剤の使い方-今後の展望も含めて-

広島大学病院輸血部 藤井 輝久

[共催：バイエル薬品株式会社]

■ ランチョンセミナー 10

6月21日(金) 12:25~13:15 第7会場(2F 大会議室)

座長：福武 勝幸(東京医科大学臨床検査医学分野)

ケーススタディ, 定期補充下における出血

荻窪病院血液凝固科 長尾 梓

[共催：CSL ベーリング株式会社]

■ ランチョンセミナー 11

6月22日(土) 12:20~13:10 第2会場(地下1F 小ホール)

座長: 藤井 聡(旭川医科大学臨床検査医学講座)

凝固障害と凝固波形解析

奈良県立医科大学小児科 嶋 緑倫

[共催: 積水メディカル株式会社]

■ ランチョンセミナー 12

「成人血友病患者のためのコミュニケーション戦略, 治療戦略」

6月22日(土) 12:20~13:10 第3会場(地下1F 第1リハーサル室)

座長: 羽藤 高明(愛媛大学輸血・細胞治療部)

1. 成人患者の抱える心理的課題とコミュニケーション戦略

愛媛大学血液・免疫・感染症内科学(第一内科) 中尾 綾

2. 成人血友病患者のQOL向上を目指した治療戦略

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科 西田 恭治

[共催: CSL ベーリング株式会社]

■ ランチョンセミナー 13

6月22日(土) 12:20~13:10 第5会場(1F レセプションルーム)

座長: 渥美 達也(北海道大学大学院医学院・医学研究院免疫・代謝内科学教室)

血友病Aと第VIII因子補充療法の重要性~ライフイベントと補充療法について~

兵庫医科大学内科学講座血液内科 徳川多津子

[共催: バイエル薬品株式会社]

■ ランチョンセミナー 14

6月22日(土) 12:20~13:10 第6会場(2F 第2ギャラリー)

座長: 天野 景裕(東京医科大学臨床検査医学分野)

1. Recombinant Factor VIII Fc fusion protein drives regulatory macrophage polarization

Rare Blood Disorders Research, Bioerativ Joe Salas

2. Fc 融合凝固因子製剤の可能性を考える

広島大学病院輸血部 藤井 輝久

[共催: サノフィ株式会社]

■ ランチョンセミナー 15

6月22日(土) 12:20~13:10 第7会場(2F 大会議室)

座長: 酒井 道生(宗像水光会病院小児科)

第IX因子製剤の修飾技術および作用機序から血友病診療を考える

奈良県立医科大学小児科 野上 恵嗣

[共催: ノボ ノルディスク ファーマ株式会社]

■ イブニングセミナー 1

「WFH による人道支援プログラム」

6月20日(木) 19:00~19:50 第2会場(地下1F 小ホール)

座長：松下 正(名古屋大学附属病院輸血部)

「知る」ことから始めてみませんか？世界の血友病事情のいま

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科 西田 恭治

[共催：サノフィ株式会社]

■ イブニングセミナー 2

6月20日(木) 19:00~19:50 第3会場(地下1F 第1リハーサル室)

座長：日笠 聡(兵庫医科大学内科学(血液内科))

出血性病態の止血治療における遺伝子組み換え活性化型血液凝固第VII因子製剤の役割

群馬大学医学部附属病院血液内科 小川 孔幸

[共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社]